

「堺市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」(案)【概要版】

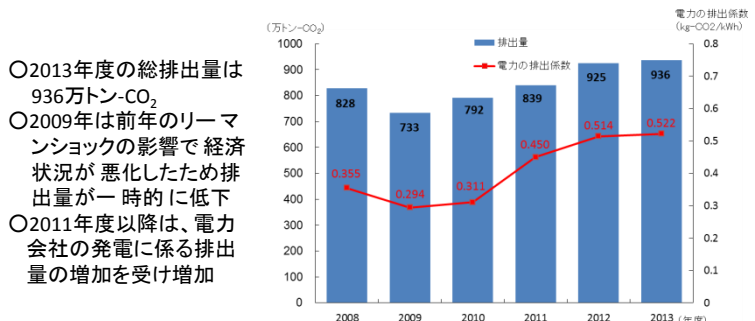
1. 計画策定の背景

- 気候変動に関する政府間パネル(IPCC) 第5次評価報告書
 - ・温暖化については疑う余地はない
 - ・温暖化の主な要因は人間活動の可能性が極めて高い
- 持続可能な開発目標(SDGs)(2015年9月採択)(国連)
 - ・「気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る」などの目標設定
- パリ協定(COP21)(2016年11月発効)(国連)
 - ・「平均気温上昇を2℃未満に抑える」「今世紀後半に人為的な温室効果ガスの実質排出ゼロ」などの目標設定

- 気候変動の影響への適応計画(2015年11月閣議決定)
 - ・(将来予測)厳しい温暖化対策をとった場合…平均1.1℃上昇
 - ・温室効果ガスの排出量が非常に多い場合…平均4.4℃上昇
- 地球温暖化対策計画(2016年5月閣議決定)

- 環境モデル都市(2008年度選定)としての温室効果ガス排出量削減に係る取組を示した第2次環境モデル都市行動計画(2014～2018年)

2. 堺市の温室効果ガス排出量 3. 温室効果ガス排出量の将来予測



○ 2013年度の総排出量は936万トン-CO₂

○ 2009年は前年のリーマンショックの影響で経済状況が悪化したため排出量が一時的に低下

○ 2011年度以降は、電力会社の発電に係る排出量の増加を受け増加

★新たな対策を講じなかった場合、2030年度の排出量(BaU)は986万t-CO₂

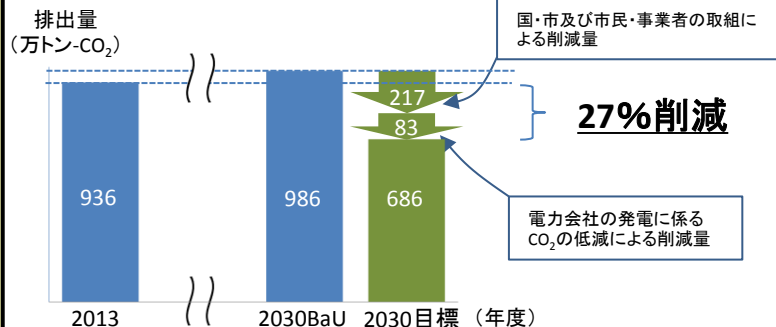
4. 計画の基本的事項

- (1) 計画期間：2017～2023年度(7年間)
- (2) 計画の位置づけ：「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく法定計画として策定
「第2次堺市環境モデル都市行動計画」を統合し、地球温暖化対策の総合計画として策定

5. 削減目標等

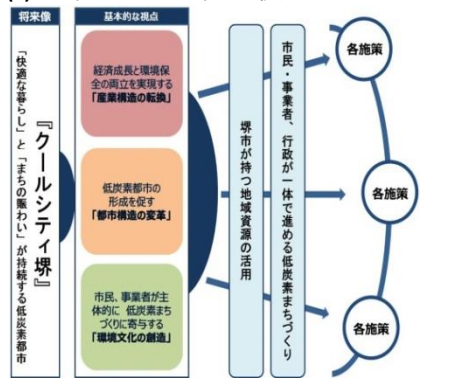
★中期目標：2030年度に27%削減(2013年度比)

★長期目標：2050年に80%削減



6. 堺市域の地球温暖化対策の推進

(1) 基本理念及び基本的な視点



(2) 温暖化防止に関する取組(法定計画上、必須部分)

(○の取組：第2次環境モデル都市行動計画から新たに追加した取組)

産業構造の転換

(A) 事業者の低炭素取組への支援

- ・事業所連携によるエネルギー融通の取組推進
- ・下水熱等未利用エネルギーの利活用促進
- ・省エネ・創エネの普及拡大、スマートファクトリー導入支援 など

(B) 自主的な取組の推進

- ・クールシティ・堺パートナー制度の普及 など

(C) 環境関連産業の創出支援

- ・中小企業の研究開発支援
- ・次世代エネルギーパーク(堺エリア)を活用した再生可能エネルギー等の普及促進
- 「堺市水素エネルギー社会構築ロードマップ」に基づく取組推進

都市構造の変革

(A) 公共交通を中心としたまちづくりの推進

- ・鉄軌道やバス交通の利用促進 など

(B) 自転車を活かしたまちづくりの推進

- ・さかいコミュニティサイクル事業等
- ・自転車通行環境整備事業

(C) 環境に配慮した自動車利用の推進および道路交通環境の向上

- ・次世代自動車の普及促進
- ・エコドライブの普及啓発 など

(D) 面的な低炭素化の推進

- ・先導的な低炭素まちづくりの推進
- 省、創、蓄エネルギー機器の連携による地域エネルギーマネジメント
- (E) 緑の保全・創出による緑豊かで潤いのあるまちづくりの推進
- ・身近なまちの緑の保全及び創出
- ・屋上緑化、壁面緑化等の施設緑化の推進
- ・農地の保全活用等の実施 など

環境文化の創造

(A) まちなかソーラーの推進

- ・住宅等への太陽光発電設置支援
- ・公共施設への太陽光発電システム設置促進
- ・民間資金活用型まちなかソーラー事業 など

(B) 効率的なエネルギー利用の促進

- ・スマートハウス、スマートオフィスの導入支援 (HEMS、BEMS、燃料電池、蓄電池などの普及促進)
- ・CASBEE稼の運用 ○ZEH、ZEBの普及支援
- 堺市木材利用基本方針に基づく木材利用の推進
- ・道路等におけるLED設置促進 など

(C) 市民・事業者が主体となった取組の推進

- ・うちエコ診断の実施
- ・4Rの推進によるごみの減量化
- ・環境経営システムの導入支援 など

(D) 環境人材の育成

- ・堺エコロジー大学
- ・環境・防災教育の推進 など

(3) 温暖化の影響への適応策に関する取組(法定計画に上乗せする部分)

IPCC第5次評価報告書

- 温室効果ガス排出量がどのようなシナリオをとったとしても、世界の平均気温は上昇し、21世紀末に向けて気候変動の影響リスクが高まる
- 温室効果ガスの排出を抑制するだけでなく、気候変動の影響に対応する「適応」を進めることが必要

【適応策】地球温暖化がもたらす現在及び将来の気候変動の影響に対処する施策

○農業、林業、水産業…農作物

- ・技術情報や病害虫に関する情報の提供 など

○自然生態系

- ・市民参加型生物多様性WEBサイト「堺いきもの情報館」の運営
- ・「堺市レッドリスト」「堺市ブラックリスト」の公表 など

○自然災害・沿岸域…水害、土砂災害、高潮・高波

- ・河川氾濫及び内水氾濫による浸水想定や土砂災害危険箇所に関する情報提供、避難に関する啓発
- ・雨水管や雨水ポンプ場、雨水調整池などの施設の整備
- ・大和川高規格堤防整備事業及び土地区画整理事業等との一体整備の推進 など

○健康…熱中症

- ・熱中症予防の普及啓発、注意喚起
- ・熱中症からの一時避難所「クールスポット」の開設

○国民生活…都市生活…ヒートアイランド

- ・人工排熱の低減、建物・地表面の高温化抑制 緑化の推進 など

○産業…経済活動

- ・クールシティ・堺パートナー制度
- ・中小企業の研究開発支援 など

○水環境…水資源

- ・水温、水質等のモニタリング
- ・下水再生水の利活用 など

7. 推進体制等

- (1) 推進体制：「環境都市推進本部」を中心に推進し、環境モデル都市に係る取組の「参加・協働の場」である「堺市環境都市推進協議会」とも連携を図る
- (2) 進捗管理：外部評価を含むPDCAサイクルによる適切な進捗管理、削減目標の達成状況の公表